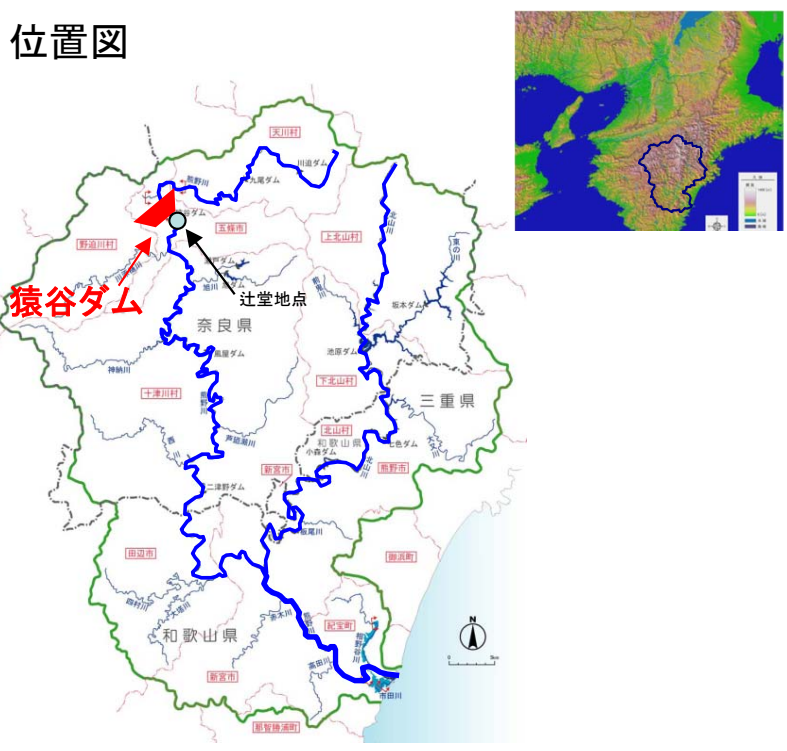


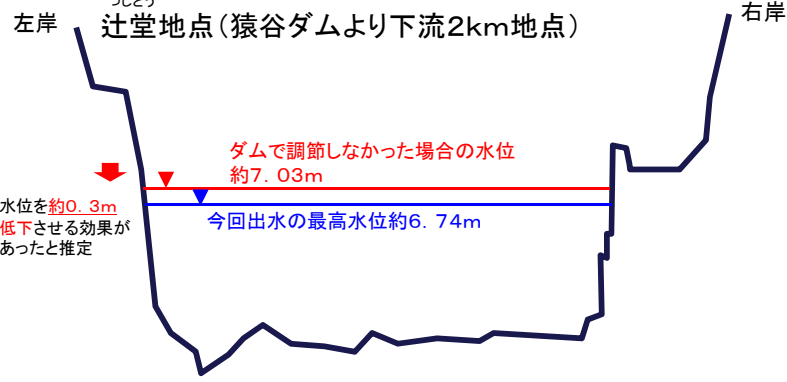
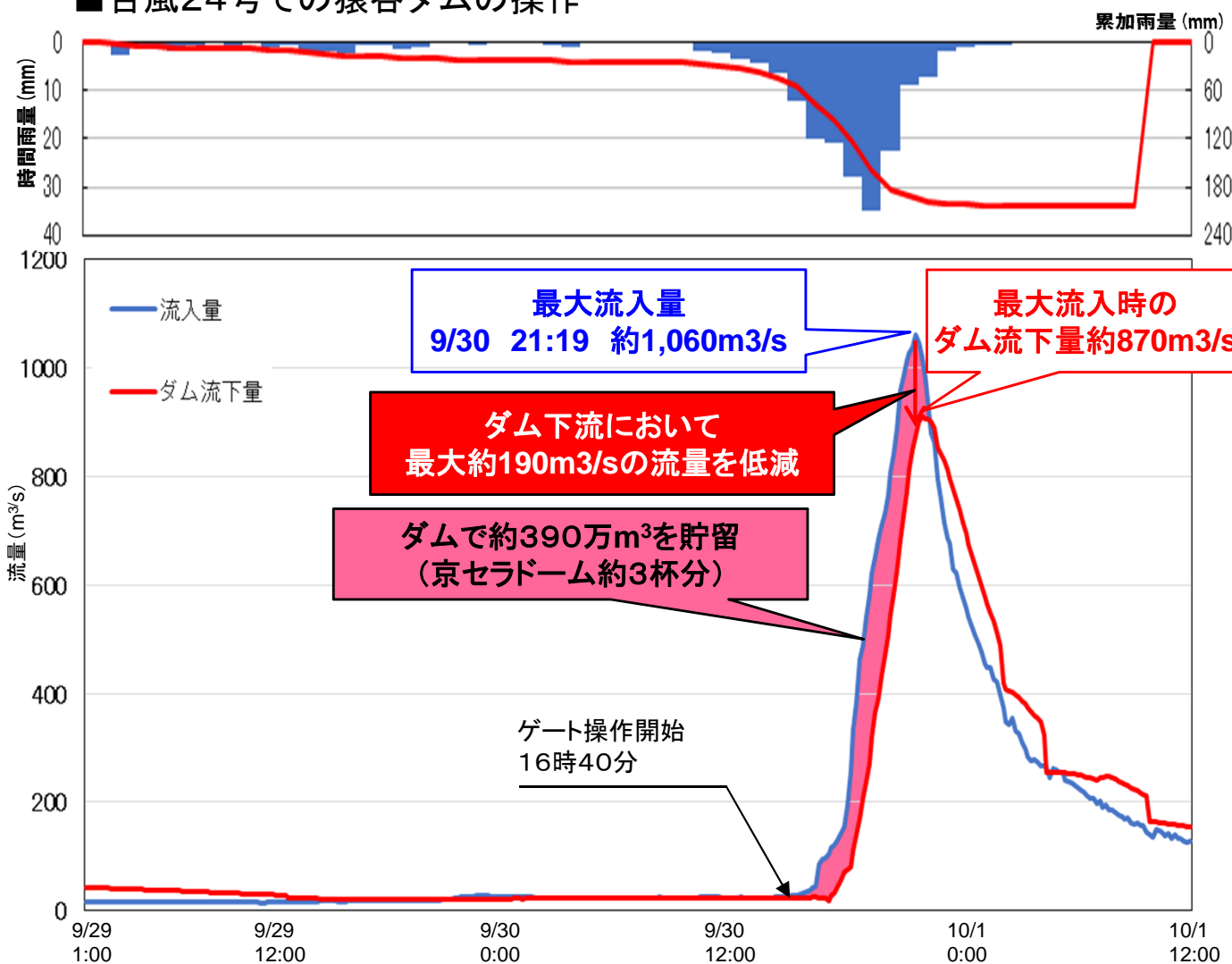
# 新宮川水系 猿谷ダムによる効果

○台風24号に伴う豪雨により新宮川上流域では、9月29日から10月1日にかけて、流域平均の総雨量が203.2mm、時間最大雨量が43mm(川迫雨量観測所)となり、猿谷ダムへの約1,060m<sup>3</sup>/sの流入量を記録。  
 ○利水ダムである猿谷ダムでは、約390万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、ダム下流の辻堂地点(五條市大塔町辻堂付近)で熊野川(十津川)の水位を約0.3m低下させる効果があったと推定。

位置図



■台風24号での猿谷ダムの操作



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

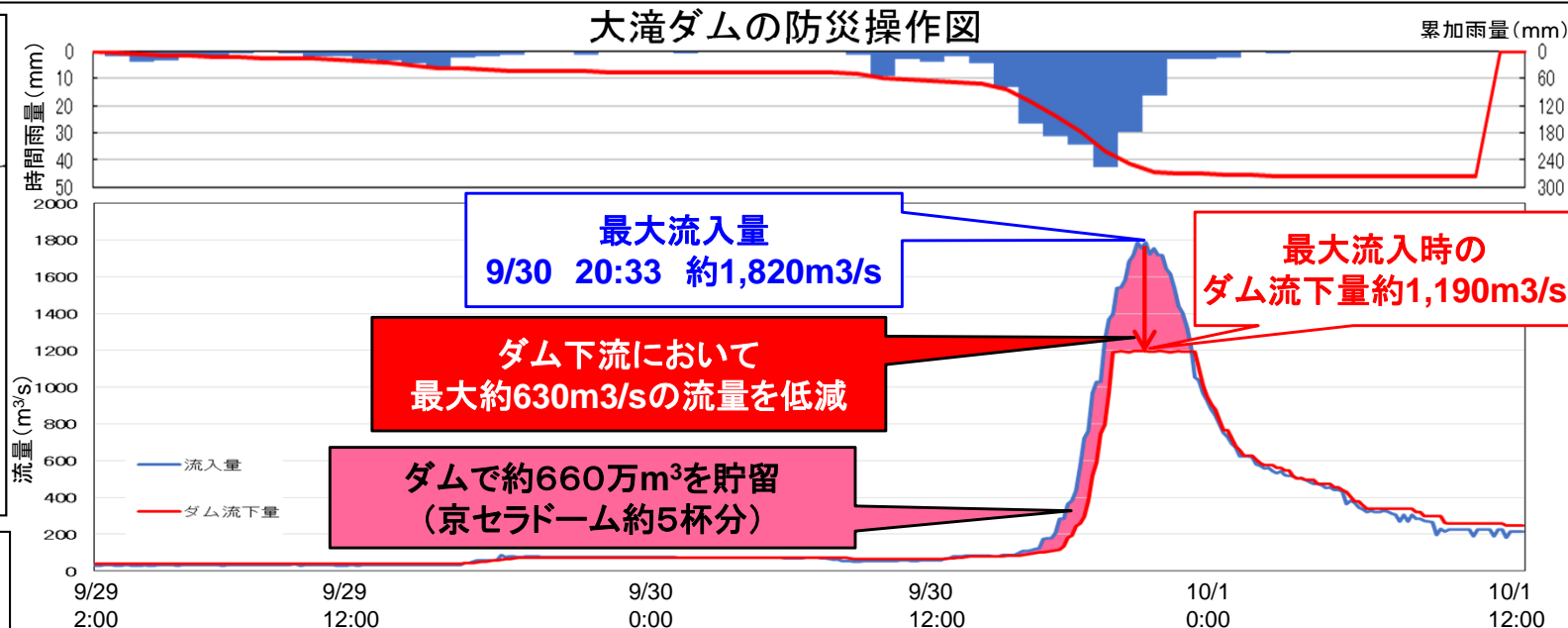
# 紀の川水系 大滝ダムによる効果

○台風24号に伴う豪雨により紀の川上流域では、9月29日から10月1日にかけて、流域平均の総雨量が274.9mm、時間最大雨量が71mm(入之波雨量観測所)となり、大滝ダムへの流入量 約1,820m<sup>3</sup>/s (大滝ダム管理開始以降第4位)を記録。  
 ○大滝ダムでは、約660万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、ダム下流の紀の川の水位を五條地点(五條市新町付近)で約0.9m、三谷地点(かつらぎ町三谷付近)では約0.4m低下させる効果があったと推定。

## 位置図



## 大滝ダムの防災操作図



## 三谷地点 航空写真



三谷水位観測所 断面位置

## 五條地点(大滝ダムより下流40km地点)



## 三谷地点(大滝ダムより下流60km地点)



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。